

週刊かわら版

生徒と保護者のための



進級おめでとう

ひとつ学年があがった。それは四つの季節をしつかりと踏みしめた証だ。そして昨年と違う四季が来るだろう。その良し悪しは自分次第かもしれない。

メモの活用

この時期、街中の文房具店や書店には様々な手帳が並べられている。最近では1月始まりのものや4月そして3月始まりのものなどがあ

る。その人の用途にあわせて使えばよい。

「先見」は赤十字の活動をしていくうえで、とても大切な考えである。先々を見る。そしてそれに合わせて、何らかの準備をしていくことである。何に對して準備したらいいのか、どういう準備をしたらいのかかわからない。その時に役立つのが日々のメモである。ぜひ、今年度から取り組んでもらいたいの

先見コーナー

- 4/06(水) ○平成28年度始業式 ※スクールバス 12:50 発
○新任式 新しい先生方が12名着任されます
- 4/07(木) ○入学式 2・3年生は自宅学習
生徒補助員 8:30 体育館前に集合
- 4/08(金) ○平常通りに登校 ※スクールバス 16:00 発
○青少年赤十字の日
○2・3年生普通科系1~4限 実力考査(数・国)
専門系 1~4限 進路マップテスト(国・数・英)
○1年 1~2限 LHR 2限目エゴグラム検査
3~4限 オリエンテーション
○5限目着こなしセミナー(全) 6限目新入生歓迎式(全)
- 4/10(日) ○e-プレ1年 NZ 留学帰国
- 4/11(月) ※スクールバス 16:00 発
○(普通系3年) 1限~5限(英・社会系・理科系の教科)
○(専門系3年) 1限SPIテスト(専門系) 2~5限授業 6限LH
○(普通系2年) 1限~2限(実力考査・英語)
3限~4限テスト訂正・身体測定
5限~6限LHR 特進は5限SPI
○(専門系2年) 1限SPI 2限~4限(授業・身体測定2年)
5限 授業 6限LHR
○(1年全)終日 オリエンテーション
- 4/12(火) ○3年身体測定
- 4/13(水) ○平常授業 ※スクールバス 16:00 発
○内科検診 ○e-プレップ2年始業式・授業開始
- 4/14(木) ○平常授業 ※スクールバス 16:00 発
○内科検診 ○進路マップ(専門1年)
- 4/15(金) ○平常授業 ※スクールバス 16:00 発
○内科検診

次のかわら版2号(通算38号)は4月25日(金)に発行予定です。

資格試験情報

資格試験の受験申し込みの受付が近日中に始まるもの。次のようなものがあります。

- 秘書検定
- 危険物取扱作業主任者
- 諸英語検定試験

入試の時の面接では、多くの生徒が資格の取得を最大の目標にしています。どれかに目標を定め、チャレンジをしましょう。

身体測定

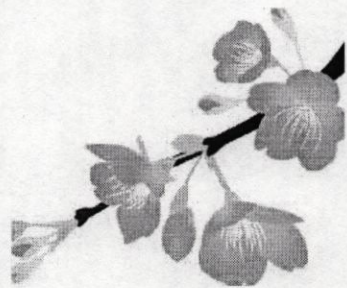
身体測定は「先見コーナー」に記載してある日程で行われます。注意事項を記載します。

◎服装は夏の正課体育服

◎メガネ・コンタクトを使用している生徒は、必ず持参する。(裸眼は測定しない)

◎貴重品の管理をしつかりと

※座高の計測は廃止されました。



時の情景

濱田悠介先生(本校美術教員)の日本画個展が開かれます。ぜひ足を運んでいただきたいと思います。

5月14日(土)~26日(木) テーマ 時の情景
場所 ホワイトギャラリー (鹿児島市下電尾町)

テゲ・テゲ

岩崎弘志のTEGEX2ハイスクール(MBC)に生徒会本部の6名が出演します。放送は4月10日(日) 13時~14時

KYTがめん 県政ナビ

県議会と高校生との意見交換会がありました。その模様放映4月10日(日) 午前11時45分~午前11時50分 インターネット上では一年間見ることができません。

編集後記

脱靴場近くに電光掲示板を設置してみました。人間は耳からの情報より目からの情報の方が残ることが多いようです。今日一日の予定、しなげればならないことをチェックする習慣をつけてもらいたいです。そういう気持ちで設置してみました。また、戸惑いの多い新学期の手助けになってほしいものです。

清流

新年度が始まった。入学を九月にしよとすると動きもあるが、やはり四月がいい。新しい芽や息吹を感じるこの四月がやはり入学の季節にふさわしい▼「冬来たりなば春遠からじ」とイギリスの詩人シェリーが書いている。寒く厳しい冬が来たということは、暖かい春が目の前まで来ているということ。冬は「ふゆる」である。「ふゆる」つまり「増える」ことである。寒い時にはしっかりとと生命のエネルギーが増えるという。植物が根っこを下に下に伸ばしたり、球根に栄養を蓄えていくのも冬の間である。春になった今、重いコートを脱ぎ捨て、新しい気持ちで、事にあたりたい▼「改」の字の偏(へん)は「己」、巳(み)、「へび」が転じたものである。そして旁(つくり)は又(ほくづくり)で、こん棒を手にしたたか姿である。つまり、自分の中に住むへびをこん棒でたたき、追い出すことが「改める」ことである▼今までの自分に満足せず、また今までの自分を恥じずに、ただ「改める」のである。新しいものを取り入れるには、古いものを追い出さなくてはならない。新しい自分への挑戦である。